

3月の祭典行事について

熱田 神宮 宮 庁 総 務 課 名 古 屋 市 熱 田 区 神 宮 1 - 1 - 1
Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL http://www.atsutajingu.or.jp

今年も豊作でありますように

祈年祭(きねんさい)

3月17日(金)

午前10:00

本宮・別宮・撰末社

祭典・神事

祈年祭は五穀豊穡と産業の繁栄を祈るお祭りです。このお祭りは「トシゴイノマツリ」ともいい、この「トシ」とは稲のことで、その実りが豊かであることをお祈りします。当日は、県下の篤農家で組織された熱田神宮豊年講の皆さんをはじめ、農業関係者多数が祭典に参列します。



烏喰の儀と韓神舞を奉納

御田神社(みたじんじゃ)祈年祭

3月17日(金)

午後2:00

御田神社

祭典・神事

五穀豊穡の神様である大年神(おおとしのかみ)をお祀りする御田神社の祈年祭では、祭典の前に、「ホーホー」と唱えながらお供物を土用殿の屋根に投げ、鳥にお供物を食べさせる「烏喰(おとぐい)の儀」が行われます。祭典中には「韓神舞(からかみのまい)」という、独特の所作をする舞も執り行われ、非常にめずらしいお祭りです。



○古くは、烏喰の儀のお供物を、鳥が飛んできて食べなければ、祭典が行われなかったとも伝えられています。

お氷上さんの愉快的な神楽

氷上姉子神社太々神楽(だいだいかぐら)

3月26日(日)

午後2:00

氷上姉子神社(境外撰社)

祭典・神事

緑区大高町に鎮座する当神宮撰社の氷上姉子神社で、東海地方に広く伝播した熱田神楽を奏し、農作物の豊作を祈願します。

当日は追儺・招福などを祈る、ここでしか拝観できない六種の神楽を神前で奉奏します。



○この神楽は江戸時代中期頃より始まったといわれ、明治初年まで熱田神宮の神前でも奉納されていました。その後は神楽元に引き継がれて、やがて市南部に普及し氷上姉子神社で行われるようになりました。

熱田神宮宝物展 3月平常展

コーナー展「屏風と絵巻物」

2月24日(金)～3月28日(火)

午前9:00～午後4:30

宝物館

宝物展示

南北朝時代に書き写された「日本書紀」や、神さまの調度品である「朱漆弓」・「黒漆根古志形鏡台」(いずれも重文)の他、コーナー展では、風景を描いた山水図屏風や、花鳥・文字を大書した金箔地の屏風等、約60点を一堂に展示します。光を拡散させ、薄暗い室内を明るくするために用いられた金屏風の華麗で荘厳な風合いをご鑑賞ください。

○[入館料] 大人300円(250円)、小中学生150円(100円)
()内は20名以上の団体料金 *入館は午後4時10分まで
[お問合せ] 052-671-0852(熱田神宮文化殿)



文化講座

『明日へのあゆみーくらしとしくみー』

3月18日(土)

午後2:00～午後4:00

文化殿講堂

教養

[演題]

万葉びとに学ぶ

(万葉集を中心とした古典文学から、万葉びとの暮らし方や心情、歴史や文化をご講演いただきます。)

[講師]

奈良大学教授・国際日本文化研究センター助教・博士(文学) 上野 誠 氏

○[聴講料] 無料

[お問合せ] 052-671-0852(熱田神宮文化殿)

